



◎今月のサーフアーティスト

## ヘザー・ブラウン

オアフ島のノースショアに住み、サーフィンを楽しみ、人生を楽しむ女性サーフアーティストのヘザー・ブラウン。ハワイらしい原色のな色使いと力強いタッチで、女性の視点から見た海やサーフィンが描かれている。

文=米地有理子 text : Yuriko Yonechi

## 愛することを愛する人と共有する喜び

新しい限定作品の一つで原画は2009年に描いたもの。"クイッポス"はハワイ語で"愛する人"という意味。ヘザー曰く、「原画は当時のボーイフレンドで今の主人のために描いたの。私にとって、純粋な心からの幸せを意味する作品。地球上で一番美しい場所で、自分の愛することを愛する人と共有するという意味を込めている」。

## 『クイッポス』

価格はサイズにより異なる。7万2000円、15万3500円  
<http://www.HeatherBrown.jp>

## 女

性サーフアーティストとして男女問わず人気のヘザー・ブラウン。東京の青山に「ヘザー・ブラウン・ギャラリー」という常設ギャラリーもあり、ヘザー自身もトークショーや、展覧会などでたびたび、日本を訪れている。「私の人生は海なしでは考えられない」というヘザーは、オアフ島のノースショアに住んでいる。波がよければサーフィンしたり、ビーチに泳ぎに行ったり、一日の大半は作品作りに費やす毎日だ。つまり彼女は、自然と戯れることで作品を生み出しているのだ。



## 海の魅力と美しさの瞬間を躍動感あふれる波で表現

2010年のハワイで開催されるトリプルクラウンのアートショーのために描いたもの。「波を乗りこえ沖のポイントまでパドルして行くときに見える光景でしょ? だいたいこういう波は誰かが乗っているんだけど、たまに美しい波が誰にも乗られずみんなの横を通り過ぎる。海の魅力と美しさの瞬間が私の目に映った光景なの」。

## 『ブルーバレル』

価格はサイズにより異なる。7万2000円、15万3500円  
<http://www.HeatherBrown.jp>



## 花や木々に囲まれ海でクジラが戯れる楽園マウイ

マウイ島ラハイナにあるワイランドギャラリーで、個人のショーをした時に描いたもの。ヘザーが愛するマウイ島を表現している。絵の中にクジラを描いた初めての作品だ。ヘザー自ら「色使いもとても気に入っているの。見ているだけで幸せになる作品だわ」と語る。まるでその場にいるかのようなリアルで美しい描写だ。

## 『ラハイナショア』

価格はサイズにより異なる。8万5000円、13万0500円、18万5500円  
<http://www.HeatherBrown.jp>



## いつもの定番のスタイルから離れたハワイの夜景

「アロハ ポ ワイキキ」はハワイ語で「おやすみなさいワイキキ」という意味で2010年に描いた作品。「自分自身をリフレッシュさせて、クリエイティブであるためにも、いつもの"定番"のスタイルからちょっと違う作品を描きたいと思った」というヘザー。ホテルの窓から観るワイキキの夜景を表現している作品だ。

## 『アロハ ポ ワイキキ』

価格はサイズにより異なる。6万5500円、13万9500円、17万3500円  
<http://www.HeatherBrown.jp>

「いつも周りの自然にインスパイアされているわ。日々、常に心を穏やかにリラックスして過ごすようにしているの。そうすることで身の回りの小さなことにも気づく余裕が生まれるし、そこで感じたことや感情すべてを作品を通して表現できるから。そういう意味では地元は私の創作活動にとって最高の場所ね」という彼女の言葉のとおり、ヘザーの作品は彼女が日常を過ごすハワイの自然が題材となり、いつのまにかその場所にいるような心地よさを与えてくれる。彼女の作品を目にする誰かがハッピーな気持ちになる。観る人をすぐさま楽園に連れて行ってくれるのだ。

「私の絵が、幸せや、笑顔、優しい気持ちを、観た人みんなに届けられたらいい。私も願って絵を描いている。私の作品を通してみんなが幸せな気持ちになってくれる、それが私の目指す最高の目標だと思う。だから日本のファンのみんなも自分らしさを忘れず、自分のスタイルを持って、そしていつも笑っていてね!」そんなメッセージをくれた。今後ヘザーは5月21日と22日のグリーンルームフェスティバルに来日する予定だ。「サーフカルチャーは私の人生そのものなの。このカルチャーの中で私は息をして、生活してるのよ」と言う。この機会に彼女の作品に是非触れてほしい。